



# にじいろ通信 No.53

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ  
所在:埼玉県行田市忍 1-11-1  
TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031  
責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子  
MAIL:niji-iro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

## にじいろ 2021 夏・小麦色に焼き始めます。

**未就学児童に対する「児童発達支援」を始めました。利用児童募集中です!!**

「ピクトグラムを知っていますか?」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子

大坂なおみ選手の聖火点灯で、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが始まりました。様々な意見のある中での開催ですが、個人的には頑張っている人を応援したい気持ちでいっぱいです。開会式での演出の中で、50種類の競技のピクトグラムの実写パフォーマンスは目の付け所が斬新で楽しかったです。今や私たちの生活にピクトグラムは欠かせないものになっていますが、実は1964年の東京オリンピック開催にあたり国境や年代を超えて誰が見ても分かるようにと、日本人が考案したことで世界に広がったと言われていています。今では、人や物だけでなく感情や動作など様々な意味を表すもの(PICシンボル)



7/23 羽生の水族館へ出かけました。たくさんのお魚を夢中で見る子、流れてる水を見る子、ライトを見る子、それぞれの楽しみ方を知りました。



7/7七夕祭りは、みんなで作った七夕飾りで、部屋の中が賑やかになりました。レクでは、天の川ジャンプゲームで体を動かしました。何だかわからないけれど、ジャンプの時には笑っちゃう子どもたちでした。



梅雨明けから猛暑日が続く、にじいろはプール開きになりました。賑やかな声が響いています。特に噴水が出る、大喜びの子どもたちです。

があります。なので、言葉だけでは理解が出来なかったり、文字が苦手な子どもなどに対し、ピクトグラムは視覚支援の1つとして、私たちの支援活動には欠かすことができません。

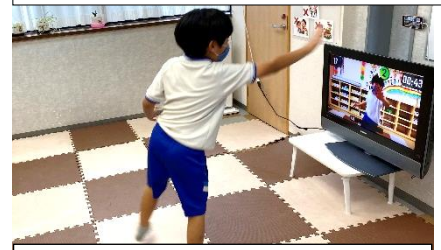
言葉で説明しなくても、情報が伝わるようにして単純化した視覚記号です。ここは何をする場所なのか?次に何をするのか?始まりなのか?終わりなのか?いいの?いけないの?ピクトグラムは子どもたちが見通しを持って過ごすことに大変有効です。なので支援現場ではたくさん使われていますが、まだまだ知られてはいません。ピクトグラムを用いてコミュニケーションが取れ、自分の意思が伝えられる、そんなコミュニケーションのバリアフリー化がどんどん進み、誰もが生活しやすくなるといいなあと、開会式を観て改めて考える機会になりました。



コミュニケーションすごろくを行いました。質問に一生懸命考えて答えました。



農作業は子どもたちの楽しみの一つ。今日は順番にトラクターに乗せてもらいました。



画面に映し出された、数字を触っていきます。体を動かして空間認知を刺激します。画面の中で動く自分が不思議で楽しいね。

- ★8月のにじいろの主な予定 3日:ARもぐらたたき 6日:合同水遊び大会 11日:宝さがしゲーム
- 12日:射的ゲーム 13日:バスボブ作り 18日:新聞紙で何が出来る? 20日:グミを作ってみよう
- 21日:にじいろクラブ「ラフティング」 27日:にじいろ夏祭り
- ★にじいろで欲しいもの レゴブロック ぶら下がり健康器 ホッピング ミニカー 絵本
- ★ありがとうございました 佐藤様、吉野様、手島様:お菓子